

「共助の仕組みづくり」 中頓別版コモンズ形成事業 3 年間の取り組み



中頓別版コモンズ形成事業は、「人口が減少しても持続可能な中頓別町を目指す」持続可能で誰一人取り残さない中頓別町を目指して」を目的として令和4年度から開始し、令和6年度に終了しました。

3 年間で行われた様々な取り組みの内容やその成果、令和7年度から開始する地方創生事業の今後の取り組みについてご紹介します。

中頓別版コモンズ形成事業とは

中頓別版コモンズ形成事業とは、高齢化や人口減少が進む中で小規模自治体の特性を生かして住民相互の「共助の仕組み」を推進し、持続可能で活力のある中頓別町を目指すことを目的としています。

これまで取り組んできた地方創生の主な取り組みをもとに、取組1…「共助」の仕組みづくり検討、取組2…相談機能の整備、取組3…マッチング機能の整備の3つの取り組みを行いました。

「共助」の仕組みづくり検討

持続可能なまちづくりを目指していく中で、町民の皆様がこれまで作り上げてきた生活にフォーカスし、共助の仕組みづくりを推進しました。

北海道大学の学生による町民インタビューでは、得られた内容や視点を取りまとめた冊子「聞き書き 中頓別」を制作しました。町民の皆様が日ごろ思っていることや人生を通じて感じたことなどを、まちづくりに繋げることを目指しました。

また、「中頓別町『共助』の仕組みづくり推進協議会」を開催し、持続可能なまちづくりのために必要な取り組みや課題について意見交換を行い、プロジェクト全体の進捗を適宜確認・評価し取り組みを進めました。

相談機能の整備

町民、事業者、移住希望者などから様々な相談を受け止め地域資源につなげるなど、地域共生社会の実現に向けて中頓別町

にとって最適な相談体制を検討・試行し、「取組3…マッチング機能の整備」と連動させることを目指しました。

移住相談窓口の促進として、中頓別町に興味を持つ方や移住を検討する方に中頓別町でのくらしや仕事などについてわかりやすく知ってもらうことを目的に、中頓別町くらしとじごとの相談窓口Webサイトやインスタグラムでの情報発信を行いました。Webサイトを見た方から問い合わせがあり移住相談に繋がるケースもありました。

また、「くらし」に関連するテーマに焦点を当て、個人の困りごとを地域の課題と捉え、住民同士で話し合い、課題や将来の希望の共有を行い実践へ繋げることを目的に、「なかとん『くらし』座談会」を実施しました。

マッチング機能整備

「人」や「移動」、「空間」など町の人材・資源を住民とともにつなぎ・活かす「住民が相互に

取組1:「共助」の仕組みづくり

①中頓別町「共助」の仕組み推進協議会

内容

- 1.町民インタビューと聞き書き制作
- 2.中頓別町「共助」の仕組みづくり推進協議会の開催

①中頓別町「共助」の仕組み推進協議会

②なかとん「くらし」座談会

取組2:相談機能の整備

②なかとん「くらし」座談会

内容

- 1.移住相談窓口の促進
- 2.なかとん「くらし」座談会の実施

③支え合いの仕組みづくり会議

④ライドシェア交通グループ会議

取組3:マッチング機能の整備

③支え合いの仕組みづくり会議

④ライドシェア交通グループ会議

⑤しごとマッチング機能の促進

⑥旧松田商店再生PJチーム

内容

- 1.地域生活サポート事業の推進
- 2.なかとんべつライドシェアの推進
- 3.しごとマッチング機能の促進
- 4.遊休施設の運営検討

⑤しごとマッチング機能の促進

⑥旧松田商店再生PJチーム

支援し合う共助の仕組みづくり」の展開を目指し、取り組みを進めました。

地域生活サポート事業では、全世代の町民が暮らしと仕事の面で「支え」「支えられる」仕組みづくりを目指しました。今後はサポーターを増やすための取り組みなどを行い、事業を継続していけるよう進めていきます。

なかとんべつライドシェアでは、ハイヤーやデマンドバスなど既存の交通機関を補完する形で取り組みを進めており、毎月交通グループ会議を行うことで、ドライバーの安全意識や制度への理解を深めてきております。より持続可能な取り組みを目指し今後も議論を重ねていきます。

しごとマッチング機能の推進では、中頓別町内事業者の後継者不足や人手不足を解消するために「中頓別町無料職業紹介所」や「中頓別町特定地域づくり事業協同組合」などの取り組みを検討・実施してきました。今後、も事業者と意見交換を実施し、受け入れについての検討や業務

内容の調整などの対応を行っていきます。

旧松田商店を活用した町民活動や交流の場づくりの検討では、旧松田商店の活用に向けて、意見交換やお試し運用を行いました。その後改修工事を行い「中頓別町コミュニティ施設（愛称モトマツダ）」としてリニューアルオープンしました。気軽に立ち寄れる場、相談できる場として開放され、さまざまな町民活動の場や居場所として利用されています。

今年度からの取り組みについて

今後さらには人口が減少していく中で、人口構造のうち最も少ない20～30歳代の再構築を目指し、女性や若者が活躍できる就労の場づくりや子育てサポートの充実、関係人口の交流拡大や充実などに向けた仕組みづくり、地域コミュニティ活動の醸成を目指した「中頓別町女性・若者活躍推進事業」小さな町の人口構造再構築を目指して」に取り組んでいきます。